

平成27年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

知識基盤社会の到来やグローバル化の進展の中、生涯にわたり学習する基盤を培い、個性を生かしながら主体的に課題を解決出来る人間の育成をめざす。

- 1 急速に変化する社会に対応できる確かな学力を育成し、思考力・判断力・表現力を高める機会を与えることで、個性を伸ばす教育の充実を図る。
- 2 自ら将来の夢と志を描き、自己の可能性を伸ばすとともに、自らの力で進路を実現し、地域や社会に貢献できる人間の育成をめざす。
- 3 生徒が安全で安心して高校生活を送れるよう、それぞれの思いや環境・状況の違いを理解し、自他の生命や権利を大切にす意識の醸成に努める。

2 中期的目標

1 確かな学力の育成と思考力・判断力・表現力を高める機会の充実

(1) 確かな学力育成のため、本校でこれまで培ってきた授業改善の取組みをさらに充実するとともに、「授業アンケート」を活用して授業改善を図る。また、生徒に思考力・判断力・表現力を高める機会を与えるため、授業内や学校内外において、課題発見・解決能力、論理的思考力、コミュニケーション能力等を身につけさせるための取組み、例えば、課題研究やプレゼンテーション、ディスカッション、ディベートなどの機会を設ける。

⇒学校教育自己診断結果や授業アンケート結果の分析、授業振り返りシートの活用などにより、授業改善のPDCAサイクルを確立する。

⇒校内での相互授業公開、研究授業、研修等により、課題発見・解決能力、コミュニケーション能力等の取組みの工夫について情報共有し、研究を行う。

(2) 生涯にわたり学習する基盤を確立するとともに、「小・中・高・大」の教育の連携体制について充実する。

⇒自習室など自学自習環境の整備を行うとともに、各教科・科目の授業において適切な自学自習課題を設定するなどにより、授業外学習を充実させる。

⇒まず、枚方市の「小・中・高の一貫した英語教育」を踏まえて、枚方市立磯島小学校、枚方市立渚西中学校との連携を充実させるとともに、関西外国語大学との連携をさらに充実させ、小中高大の連携システムを構築する。また、他の教科における連携システムの研究も行う。

2 夢と志を描き、自らの力でそれを実現できる生徒の育成、社会人・職業人として自立・貢献できる人間の育成

(1) 社会人・職業人として自立できるよう、基本的な生活習慣やマナーを身につけさせるため、遅刻指導、挨拶指導、服装・頭髪指導の一層の徹底を図る。

⇒登校時遅刻と授業時遅刻をあわせた全生徒の年間遅刻回数が2000回を下回ることを当面の目標とする。

⇒挨拶指導は登校時と授業時を中心に行う。服装・頭髪指導は、これまでの成果を継続し、さらなる徹底をめざす。

(2) 積極性や協調性、責任感を高めるため、HRや委員会・生徒会、学校行事や部活動等などへの参加を一層奨励し、生徒の自主的活動を充実させる。

⇒自主的・積極的に社会に参加する意識を醸成するため、自主的活動の意味や意義を生徒に考えさせ、自主的活動への参加を奨励する。

(3) 上級学校や事業所、関係機関と連携して実際に「本物」や「最先端」に触れさせることにより、知識基盤社会・グローバル社会を実感させるとともに、その中で自分の個性を生かした将来の進路を考えさせ、各自の進路希望の実現を図る。

⇒国や大阪府教育委員会、さらに他の関係機関の施策や、これまでのエリア活動等の連携による外部機関との本校独自の連携の充実を図る。

⇒進展する国際化に対応する基礎的素養を身につけさせるため実用英語技能検定試験やTOEFL・TOEIC等の活用を図る。

⇒これらの取組みの過程で新たな学校への移行を視野に入れ、生徒が自ら夢や志を描けるようキャリア教育を再構築する。

⇒各自の進路希望が卒業時に実現できるよう、キャリア学習や進学講習に積極的に取り組ませる体制を充実させる。(3年後進路実現率85%とする)

3 安全で安心な学校づくりと自他を大切にす意識の醸成

(1) 地域のニーズを踏まえ、交通ルール・マナー指導を推進するとともに、地域の文化活動や清掃活動などにもPTAや地域とともに取り組む。

⇒関係機関等とも連携した交通ルール・マナー指導を推進し、交通事故の未然防止に努める。

⇒地震や洪水に係る防災教育を推進するとともに、災害発生時に対応した飲料水等の備蓄を行う等磯島校区コミュニティ協議会との一層の連携を図る。

(2) 自他を大切にす意識を醸成するため、人権教育を一層充実するとともに、生徒の実態を把握し、生徒一人ひとりの状況に適切に対応した指導を行う。

⇒これまで行ってきた人権教育を踏まえて、インターネットや携帯電話などの新たな状況にも対応した高校3年間を通した人権教育を推進する。

⇒いじめやセクハラなどについて、生徒アンケートや「高校生活支援カード」等により生徒の意識・実態を把握して、適切な指導・対応を行う。

(3) 特別支援教育については、高等学校支援教育力充実事業のサポート校として、就労に向けたノウハウの提供や具体的な支援方策を助言していく。

⇒自立支援コースを含む特別支援教育体制及びこれまでの事例に基づき、地域のサポート校としての取組みを充実させる。

⇒特別支援教育の取組みや成果を基に、教育活動の様々な場面において「共に学び共に育つ」教育活動を推進する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成27年12月実施分]

<生徒用アンケート結果>回収率97.3% (H26 97.2%)

◎評価が高い項目(プラス評価が70%以上):10項目 (H26 6項目)

「学校生活は充実している」(87.4%)、「この学校の生徒たちの関係はともよい」(78.5%)、「この学校には他の学校にない特色がある」(72.8%)、「この学校にきて良かった」(83.4%)、「学校は授業以外でも学習する機会を提供している」(75.2%)、「進路実現に関する指導は適切に行われている」(79.6%)、「学校行事やHR活動には皆が楽しく参加している」(76.8%)、「各教科から必要な量の課題や宿題が与えられている」(79.3%)、「総合的な学習の時間の学習は充実している」(74.2%)、「学校では人権の大切さについて学ぶ機会が多い」(73.7)

▼評価の低い項目(プラス評価が30%未満:1項目 (H26と同じ項目))

「授業以外での学習時間は1日平均1時間以上である」(29.3%)

【分析】20項目中20項目全て肯定的な評価がアップした。「この学校の先生は信頼できる」「いろいろと工夫がされている授業が多い」「少人数・習熟度別選択授業は充実感がある」「楽しくて、わかりやすい授業が多い」「学校は授業以外でも学習する機会を提供している」「各教科から必要な量の課題や宿題が与えられている」「進路実現に関する指導は適切に行われている」「学校生活についての先生の指導は納得できる」「先生は悩みや相談ごとには丁寧に応じてくれる」「学校行事やHR活動には皆が楽しく参加している」「総合的な学習の時間の学習は充実している」「学校では命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い」「学校では人権の大切さについて学ぶ機会が多い」の13項目について、5ポイント以上上昇した。また、「この学校に来てよかった」の項目も4.9ポイントアップした。

<保護者用アンケート結果>回収率45.2% (H26 45.8%)

◎評価が高い項目(プラス評価が70%以上):

「生徒たちは学校へ行くのを楽しみにしている」(82.1%)、「学校は特色ある教育活動に取り組んでいる」(85.5%)、「生徒たちはしっかり授業を受けているようだ」(70.4%)、「各教科からは必要な量の課題や宿題が与えられている」(76.3%)、「学校は進路実現の取組みをしっかりとやっている」(85.2%)、「学校は人権尊重の教育を積極的に行っている」(82.8%)、「学校は生活指導をしっかりとやっている」(82.5%)、「学校は教育情報について公開・提供の努力をしている」(83.9%)、「生徒たちは部活動や行事などの課外活動に積極的である」(70.6%)、「学校は家庭への連絡を適切に行っている」(83.4%)、「学校は保護者が授業や行事を参観できる機会を設けている」(90.2%)など

▼評価の低い項目:(プラス評価が30%未満):

～なし～

【分析】17項目中14項目(H26は12項目)が70%を超えるプラス評価で、「授業が楽しくてわかりやすい」は15.1ポイント増、「しっかり授業を受けている」は7.6ポイント増、「各教科から必要な量の課題・宿題が与えられている」7.6ポイント増など、授業関係が大きくアップした。「家庭学習の時間」は38.0%(12.7ポイント増)となり、改善の傾向がみられるが、依然低く、さらなる指導・啓発が必要である。

学校協議会からの意見

第1回(7/8)【昨年度及び今年度の取組み報告】

- ・「(昨年度の報告を受け)特別指導の件数や遅刻者数が減少し、1年生はまじめに取組み、2年生は落ち着き、3年生は熱心に取り組んでいると感じる。10年間で一番肯定的な報告であった」
- ・「色々なところで自立支援コースの生徒が関わっていることが本校のよいところ。周りとは少し違う生徒に対して、分らせる対応をしようとしていると感じる。3年間という短い期間だが、先生方の熱意・努力を感じる」
- ・「環境教育について、生徒環境委員会が文化祭でエコ大賞を選んだりしている。枚方でのエコ大賞などの企画にもできれば参加できないか。保健部・生徒会の連携による美化の取組みもさらに充実してほしい。挨拶が明るくなっている」
- ・「生徒の服装について、リボンをしている生徒としていない生徒がいる。リボンの着用の指導はどうなっているのか。」(回答:式典は着用することとしているが、他は生徒の判断に任せている)
- ・「体育祭の応援合戦は大変いいが、部活動参加生徒が参加しにくい。検討してほしい」
- ・「漢字検定について、(以前は実施していたそうだが)校内実施してほしい」

第2回(11/11)【授業の改善について(授業見学をもとに)】

- ・「黒板が大きく、プロジェクタなど環境が整っている。また、様々な授業スタイルがあり、人材にも恵まれている」・「先生が伸び伸びとしていて、雰囲気が良い」
- ・「一部の生徒だが、机上に学習に関係のないものを出しているが、片づけられていない。授業に臨む姿勢・環境が整理・整備されている授業もあり、そこでは生徒の学びの質も高いのではないかと」
- ・「生徒たちが学びに向かっている姿勢が感じられた」
- ・「人権も含めて、様々な生徒と一緒に生きていくことを小・中・高の連携の中で学んでほしい」
- ・「親の立場として、子どもが学校に行くのが楽しいと言っているのは、うれしい」
- ・「経営計画に従い、順調に進んでいると感じる。多様な生徒をよく伸ばしている」

第3回(3/7)【平成27年度学校評価アンケート結果、本年度総括、次年度方針】

- ・「アクティブラーニングの取組みが進んでいるが、授業以外の学習が必要となるので、授業外の学習時間を充実させる必要がある」
- ・「中学校として、様々な連携に感謝している。全国学力調査の扱いを含め、中学校現場では様々な変化があり、中学校2年生の1月から定期テストも含めて毎月、大きなテストがある。適切な進路指導のためにも、より一層の中高連携をお願いしたい。」
- ・「非常にきめ細かい生徒対応をされていることが、学校評価自己診断のアンケートや先日の卒業式からも窺える。基本的な生活習慣の指導や地域との連携、小中高連携など継続されたい。」
- ・「生徒たちの将来、社会の将来に向けたESD(持続可能な開発のための教育)に取り組まされたい。」
- ・「生徒自立支援コースと支援学校と、生徒・保護者によりニーズが異なると考える。それぞれの違いを踏まえ、適切な周知、広報をしてほしい。」
- ・「以前実施していた漢字検定の、校内実施を是非復活してほしい。読書活動についても、授業や読書感想文などの取組みを推進してほしい。」
- ・「授業力向上にかかるアンケート結果が大きく向上している。手段、方法にとどまらず、その効果や、『指導と評価の一体化』についても十分分析・検討し、様々な生徒に対応した、適切かつ効果的な授業をめざしてほしい。」

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成と思考力・判断力・表現力を高める機会の充実	<p>ア 確かな学力の育成のための教員の授業力の向上</p> <p>イ 自分で考える力、自分を表現できる力、物事を調べる力、プレゼンテーション能力等生徒の課題解決・発表力の向上</p> <p>ウ 生涯にわたり学習する基盤の確立</p>	<p>ア 授業力向上に向け、ユニバーサルデザインなどについて情報を共有し活用するため、先進校視察や公開授業・研究授業・学識経験者を招いた研修に学校全体で組織的に取り組む。</p> <p>イ 上記の取組みを踏まえ、生徒が自分で考える力、物事を調べる力、専門的な知識、物事を自分で理解する力、自分を表現できる力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション力をつけ、さらに向上させるため、授業等における生徒の活動を実施・充実する。</p> <p>ウ 自習環境の整備・充実を進めるとともに、生徒に対して適切な宿題や課題を与え、自学自習を奨励・指導する。また、各種検定試験（英語技能検定、漢字能力検定、日本語ワープロ検定等）の受験・資格取得を勧奨・支援する。</p>	<p>ア 研究授業、公開授業の実施回数(H26 18回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「㊦いろいろと工夫されている授業が多い」5ポイント増(H26 60.3) ・「㊦楽しくてわかりやすい授業が多い」5ポイント増(H26 50.9) <p>イ「㊦専門的な知識・自分で考える力・自分を表現する力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション力・物事に対する理解力・物事を調べる力」のそれぞれ5ポイント増</p> <p>ウ「㊦授業以外での学習時間は1日平均1時間以上である」5ポイント増(H26 26.7)・「㊦学校は授業以外でも学習する機会（講習会・検定など）を提供している」5ポイント増(H26 66.9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得者数160人以上(H26 148人) 	<p>ア 「授業力向上」にかかる研修5回、研究授業、公開授業の実施回数33回 (㊦)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「㊦いろいろと工夫されている授業が多い」66.5 (6.2ポイント増) (㊦) ・「㊦楽しくてわかりやすい授業が多い」59.6 (8.7ポイント増) (㊦) <p>イ「専門的な知識」82.3 (3.0ポイント増)、「自分で考える力」84.2 (4.1ポイント増)、「自分を表現する力」80.1 (7.7ポイント増)、「プレゼンテーション能力」66.9 (1.2ポイント増)、「相手とコミュニケーションする力」78.6 (4.3ポイント増)、「物事に対する理解力」80.8 (1.3ポイント増)、「物事を調べる力」80.5 (2.2ポイント増) (㊦)</p> <p>ウ「㊦授業以外での学習時間は1日平均1時間以上である」29.3 (2.6ポイント増) (㊦)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「㊦学校は授業以外でも学習する機会（講習会・検定など）を提供している」75.2 (8.3ポイント増) (㊦) ・資格取得者数 213人 (43.9ポイント増) (㊦) ・自習室・「学びと憩いのスペース」整備完了 (㊦)
人間の育成 2 夢と志を描き、自らの力でそれを実現できる生徒の育成、社会人・職業人として自立・貢献できる	<p>ア 基本的な生活習慣・マナーの確立</p> <p>イ 進路実現に向けた本物・最先端に触れる活動の充実</p> <p>ウ 大学等進学希望者等に対する進路実現の取組みの早期化・具体化</p>	<p>ア 「遅刻指導強化週間」の実施や登校時・授業時などでの粘り強い指導により、遅刻や頭髪・服装、携帯電話使用、通学における一層のモラル・マナーの向上をめざす。</p> <p>イ キャリア教育にかかる「LC（ライフクリエーション）」「LHR」やエリア活動、「卒業生に聞く」「TRYOUT」等の進路実現に向けた活動の充実を図る</p> <p>そのため、自由選択科目やエリア活動など普通科総合選択制の特色をさらに活用し、大学や専門学校、企業等との連携・協力により、“本物”を体験し、“最先端”に触れる教育活動や芸術鑑賞など特別活動を充実する。</p> <p>ウ 各学年当初から進路希望別指導や進学講習等を積極的に行い、志望校の決定を早め、生徒の進路希望の実現を支援する。</p>	<p>ア「㊦学校生活についての先生の指導は納得できる」5ポイント増(H26 58.0)</p> <p>イ“本物”を体験し、最先端“に触れる活動、大学等との連携活動の実施回数の増加 (H26 6回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「㊦総合的な学習の時間の学習は充実している」5ポイント増(H26 69.1) ・「㊦エリアの学習は自分の興味・関心を満足させた」5ポイント増(H26 70.4) <p>ウ進路希望実現率（3年時当初進路希望と卒業時進路実績の比較）70ポイント以上(H26, 1, 大学 62.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「㊦進路実現に関する指導は適切に行われている」5ポイント増(H26 74.6) 	<p>ア「㊦学校生活についての先生の指導は納得できる」64.8 (7.2ポイント増) (㊦)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻件数(12月末) 237人減 (△12.3%) (㊦) <p>イ“本物”を体験し、最先端“に触れる授業や活動等の実施回数の増加 16回 (㊦)</p> <p>文楽鑑賞（今日・大阪の歴史と文学選択者）、京セラドキュメントソリューションズ（株）（理数自然エリア）、大阪府立環境農林水産総合研究所訪問（理数自然エリア）、枚方市高校生スマートライフレシコンテスト（家庭科：課題研究）、子育ての集い（地域・生活エリア）、京大研究室探訪（理数自然エリア）、関西外大探訪（英語文化エリア）、芸術鑑賞（全学年）、落語鑑賞会（人文エリア）、枚方環境ネットワークによる授業（環境科学）、関西外大留学生交流（英語文化エリア）、関西看護専門学校訪問・大阪社会体育専門学校訪問（生命人間エリア）、まほうびん記念館見学（理数自然エリア）、大阪ハイテクロジー専門学校訪問（芸術情報エリア）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「㊦総合的な学習の時間の学習は充実している」74.2(5.1ポイント増) (㊦) ・「㊦エリアの学習は自分の興味・関心を満足させた」80.5 (10.1ポイント増) (㊦) <p>ウ進路希望実現率 83.0(20.8ポイント増) (1月末現在) (㊦)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「㊦進路実現に関する指導は適切に行われている」79.6% (5.1ポイント増) (㊦)
3 安全で安心、そして自他を大切にする意識の醸成	<p>ア 地域との連携の強化と校内環境の整備</p> <p>イ 自他を大切にする意識の醸成</p> <p>ウ 特別支援教育の充実</p>	<p>ア 地域活動との連携のさらなる充実、特に防災備蓄や防災避難訓練における地域コミュニティ協議会等との連携を行う。また、環境に対する意識“気づき”を高め、校内美化の推進、安全点検等を踏まえた校内環境の整備に取り組む。</p> <p>イ インターネットや携帯電話等にも対応した人権教育を実施するとともに、アンケート等により把握したいじめなどの事象などには迅速かつ的確な対応を行う。</p> <p>ウ 自立支援コースの教育体制を充実するとともに、「共に学び共に育つ」教育活動をさらに推進する。また、支援教育サポート校としての取組を一層充実させる。</p>	<p>ア 地域活動参加回数の増加 (H26 11回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域等と連携した防災避難訓練の実施と継続に向けた体制整備 ・「㊦学校の施設・設備は充実している」5ポイント増(H26 56.7) <p>イ「㊦学校では命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い」5ポイント増(H26 59.1)</p> <p>ウ「㊦この学校の生徒たちの関係はとてもよい」5ポイント増(H26 76.5)</p>	<p>ア 地域活動参加回数の増加 (計16回) (㊦)</p> <p>キテミテ中之島 2015 みんなの駅美術館（美術部）、枚方ふれあいフェスティバル（自立支援コース、交流委員会、園芸部、コーラス部）、ひらかたキャンドルのタペ（美術部）、御殿山フェスタ（イラスト部）、磯島地区体育祭（放送部、吹奏楽部）、教文子どもサイエンスフェア（科学部）、サイエンスフェスタ（科学部）、虹まつり（吹奏楽部）、渚西中学校イングリッシュコンテスト（英語選択者）、渚西中学校吹奏楽部合同練習（吹奏楽部）、渚西中学校美術部交流（美術部）、山田ふれあいタウン（吹奏楽部）、天の川クワン&クワン（生徒会他）、TOUROUアート甲子園（美術部）、磯島校区コミュニティ防災訓練（生徒会）、枚方市平和の日記念事業（美術部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「㊦学校の施設・設備は充実している」(㊦) 58.4 (1.7ポイント増) <p>イ「㊦学校では命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い」66.0(6.9ポイント増) (㊦)</p> <p>ウ「㊦この学校の生徒たちの関係はとてもよい」78.5 (2.0ポイント増) (㊦)</p>